

CASIO®

ジェナス

306・308

使用説明書

カシオ計算機株式会社

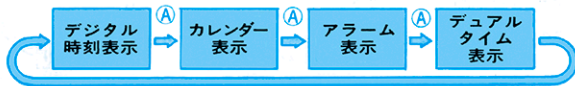
このたびは、カシオジェナスをお買いあげくださりましてありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いただきますようお願い申し上げます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

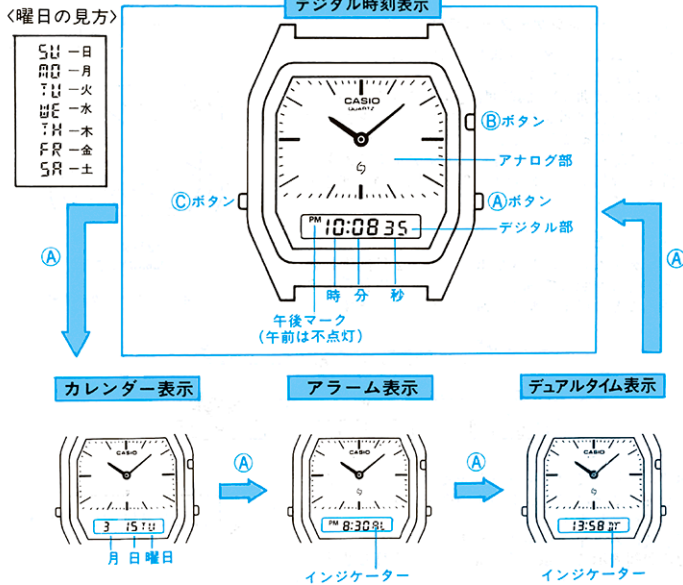
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切替わります。
(押すごとに確認音が鳴ります)

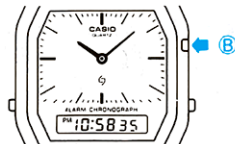


※詳しくは各機能の項目をご覧ください。



アナログ時刻のセットのしかた

デジタル部がどの表示のときでも②ボタンを押すと1/2分(20秒)ずつ進み、押し続けると早送りができます。
※分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったとき1/2分(20秒)ずつ進みます。



製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz
デジタル部表示方式: FE型液晶デジタル表示
基本機能: アナログ部……時・分(2針)
デジタル部……時刻表示=時・分・秒・午前/午後
カレンダー表示=月・日・曜日(オートカレンダー)
アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子アザー=約20秒間 時報 毎正時を報時
デュアルタイム機能: 表示内容=時・分
その他: 自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え機能
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 C/MOS-LSI
駆動方式: アナログ部=ステップモーター式 デジタル部=マルチプレックス駆動

裏蓋の刻印	精度(月差)	使用電池	電池寿命
306	±15秒以内	No.370またはSR-920W	約2年
308	±15秒以内	No.399またはSR-927W	約3年

※電池は別途販売で、カシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。

※精度(月差)は常温携帯精度です。

ご使用上の注意

- 防水性 ●裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。
 - ・20気圧 (200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示)および30気圧(300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示)防水の場合、水仕事や水泳・水スキー・スキューバダイビング(アクアラング)などで使用できます。
 - ・10気圧防水(100M相当) (表または裏に10BARまたは100Mと表示)の場合、水仕事や水泳・水スキー・スキューバダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
 - ・5気圧防水(50M相当) (表または裏に5BARまたは50Mと表示)の場合、水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキューバダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
 - ・BARまたはM表示のないもの、洗面や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などのご使用はお避けください。
- 裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なバック交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な器具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付きの状態では、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- バンド バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- お手入れ ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸水性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にもたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- 汚れたままでずとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
- 温度 直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
- ショック 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
- 磁気 家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響しないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気が発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。
- 薬品類 水銀や化学薬品(シンナー、カソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
- 保管 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。
- ※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

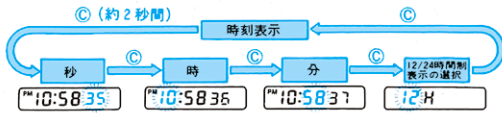
- 最初の電池 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- 消耗 電池が消耗しますと時刻の狂いが目立ったり、止まったりします。
- 消耗した電池を使っている故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- 電池交換 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

デジタル時刻のセットのしかた

デジタル時刻表示のときCボタンを約2秒間押し続けると確認音が鳴って「秒」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



●秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

(1)時刻表示のときCボタンを約2秒間押し続けると確認音が鳴って「秒」が点滅します。



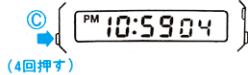
(2)時報に合わせてAボタンを押すと「秒」が00からスタートします。

「秒」が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)Cボタンを4回押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。

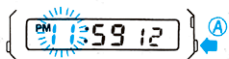


●時・分のセット

(1)Cボタンを押して「時」を点滅させます。(上図参照)



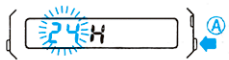
(2)Aボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。※押し続けると早送りができます。



(3)「時」を合わせたあとCボタンを押して「分」を点滅させます。「時」と同様にAボタンを押すごとに「分」が1つずつ進みますので、合わせたい「分」にします。※押し続けると早送りができます。



(4)「分」を合わせたあとCボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。Aボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、お好みの表示を選択します。※「12H」を選択したとき、午後のみPMマークが点灯します。

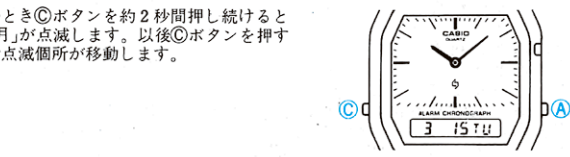


(5)表示を選択したあとCボタンを押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。

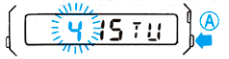


カレンダーの合わせ方……操作のしやすみにしたいAボタンを押してカレンダー表示にします。

カレンダー表示のときCボタンを約2秒間押し続けると確認音が鳴って「月」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



(1)Cボタンを押して(約2秒間)「月」を点滅させます。このときAボタンを押すごとに「月」が1つずつ進みますので、合わせたい「月」にします。※押し続けると早送りができます。



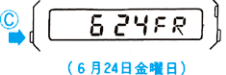
(2)「月」を合わせたあとCボタンを押して「日」を点滅させます。Aボタンを押すごとに「日」が1つずつ進みますので、合わせたい「日」にします。※押し続けると早送りができます。



(3)「日」を合わせたあとCボタンを押して「曜日」を点滅させます。Aボタンを押すごとに「曜日」が1つずつ進みますので、合わせたい「曜日」にします。※押し続けると早送りができます。



(4)「曜日」のセットが終わったらCボタンを押すと点滅は止まり、カレンダー表示に戻ります。

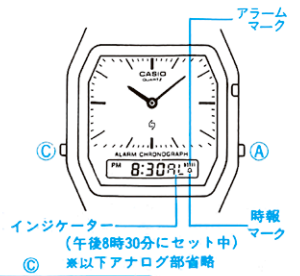


アラームの使い方……操作のしやすみにしたいAボタンを押してアラーム表示にします。

確認 ○ 12Hインジケータの点灯

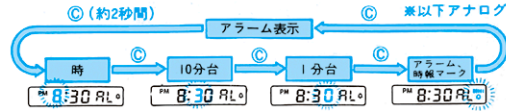
アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。また毎正時(00分のとき)を「ビッピッ」と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。※いずれもデジタル時刻表示にしたがい機能します。※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

アラーム表示



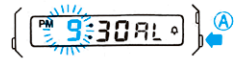
●セットのしかた

(1)アラーム表示のときCボタンを約2秒間押し続けると確認音が鳴って「時」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



(2)「時」のセット

Cボタンを押して「時」を点滅させます。このときAボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。※押し続けると早送りができます。※12時間制表示の午後のみPMマークが点灯します。



(3)「10分台」「1分台」のセット

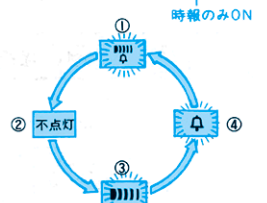
同様の操作で、Cボタンで「10分台」、「1分台」を点滅させ、Aボタンで表示をセットします。



(4)「アラーム、時報のON/OFF」

アラーム時刻(時・分)をセットしたあと、Cボタンを押すとアラームマーク(■)時報マーク(▲)が点滅します。このときAボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。マークが点灯しているときがONの状態です。

- ①アラームマーク、時報マークが点滅しているとき
→アラーム、時報ともON
- ②アラームマーク、時報マークが消えているとき
→アラーム、時報ともOFF
- ③アラームマークのみ点灯しているとき
→アラームのみON
- ④時報マークのみ点灯しているとき
→時報のみON



デュアルタイムの使い方……操作のしやすみにしたいAボタンを押してデュアルタイム表示にします。

確認 ○ 12Hインジケータの点灯

デュアルタイムはデジタル時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。デジタル時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制表示、デュアルタイムを24時間制表示にセットすることもできます。またアナログ時刻、デジタル時刻、デュアルタイムをそれぞれ別々の時刻にセットすれば3つの地域の時刻を表示することもできます。

デュアルタイム表示

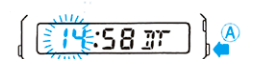


●セットのしかた

(1)デュアルタイム表示のときCボタンを約2秒間押し続けると確認音が鳴って「時」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



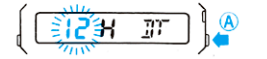
(2)Cボタンを押して「時」を点滅させます。このときAボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。※押し続けると早送りができます。※12時間制表示の午後のみPMマークが点灯します。



(3)同様の操作でCボタンで「分」を点滅させ、Aボタンで表示をセットします。



(4)「分」を合わせたあとCボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。Aボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、お好みの表示を選択します。



(5)表示を選択したあとCボタンを押すと点滅は止まり、デュアルタイム表示に戻ります。



- 鳴っている電子ブザーを止めるにはAボタンまたはCボタンを押します。
- 自動復帰機能
デジタル時刻のセットやカレンダー、アラーム、デュアルタイムのセットで表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的にデジタル時刻表示に戻ります。またアラーム表示のままにしておいても1～2分後自動的にデジタル時刻表示に戻ります。
- オートカレンダー
カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。
- モニターアラーム
アラーム表示のときAボタンを押続けると電子ブザーが鳴ります。